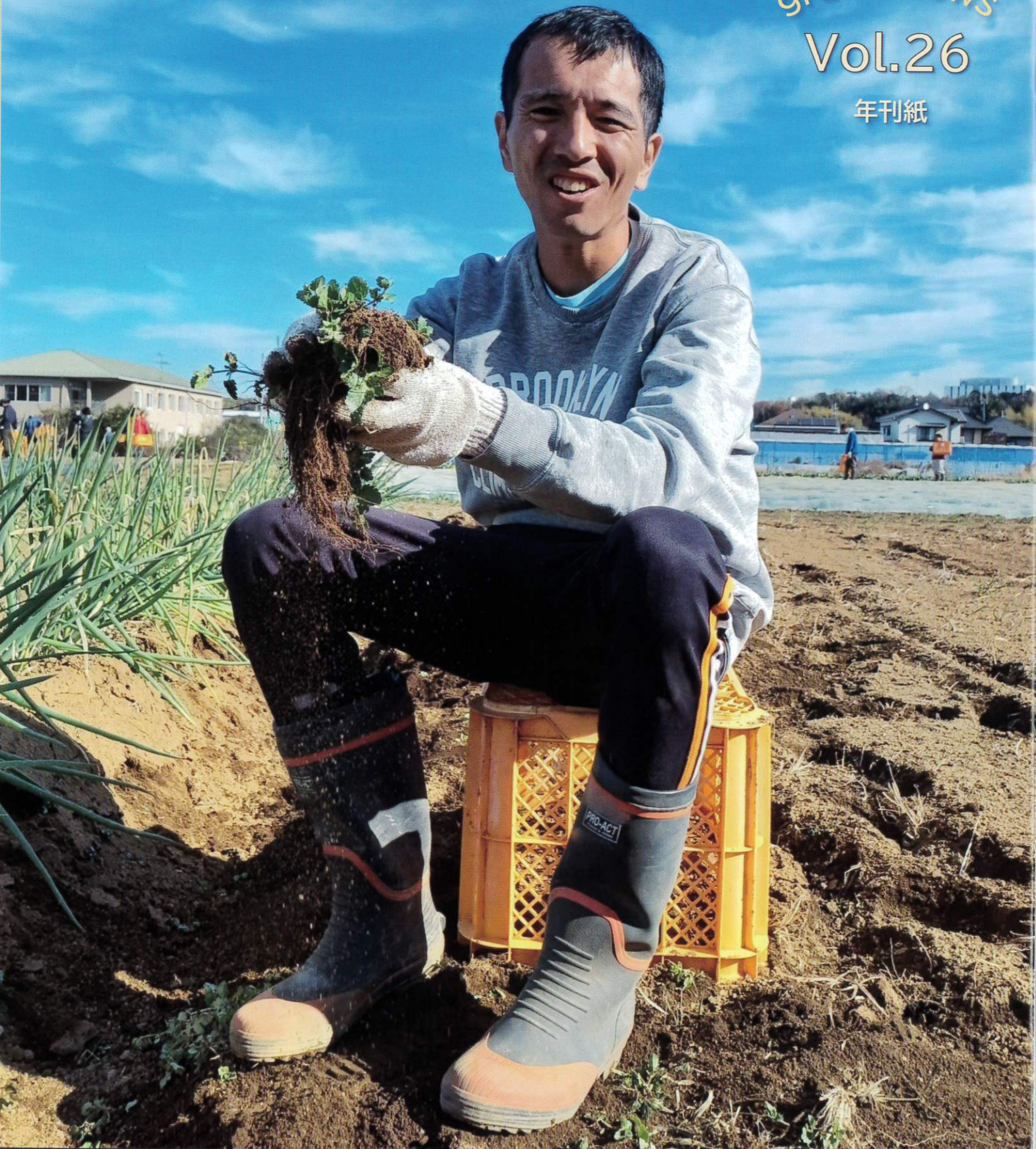


グリーン通信

green news

Vol.26

年刊紙



Q; 野菜やフルーツを
ドライにするときに
大変なことは?

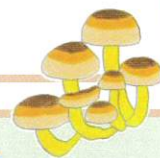
A; 乾燥させたいもの
が一度にたくさん
集中することが多い
ので、乾燥機の使
い方や、回し方に
苦労しています。

Q; 利用者さんが得意な作業は何ですか?

A; グリーンの畑でできた野菜を「切る」、そ
して乾燥させた後に行う「袋詰め」、袋にラ
ベルを貼る「シール貼り」の作業を得意な方が
多く、集中力や丁寧さを発揮しています。ま
た、縫い物やイラスト制作が得意な方もいま
す。みんなで力を合わせて作った商品はショ
ップ「とうり」で販売中です。

Q; 今後の目標を教えてください。

A; 利用者さんが心を込めて作ったドライ商品やク
ラフト商品を今よりも広
めていき、たくさんのお客
様に手にとっていただきた
いです!!



Q; 利用者さんが楽しそうにしている作業は何ですか?

A; 畑、加工、クラフト等、さまざまな作業があるので、
ベスト3を選びました。

1位/得意先様へドライ商品の納品

2位/畑で収穫

3位/野菜切り

Q; 作業の中で一番楽しいことは?

A; 利用者さんが、作っていた作品が完成して嬉
しそうに見せてくれた時。いろいろな作業で
苦戦しても職員の見本をみて、何度も挑戦し、
できるようになった姿を見られることが嬉し
く、楽しいです。

活動報告【製造販売事業】



一日のスケジュール

- 9:00 通所
- ↓
- 9:30 朝の会
- ↓
- 9:45 AM作業スタート
- ↓
- 12:00 昼食
- ↓
- 12:30 昼休み
- ↓
- 13:30 昼の会
- ↓
- 13:45 PM作業スタート
- ↓
- 15:00 休憩
- ↓
- 15:15 掃除
- ↓
- 15:30 おやつ
- ↓
- 15:45 帰りの会
- ↓
- 16:00 帰宅

Q; 野菜やフルーツを
ドライにするときに
大変なことは？

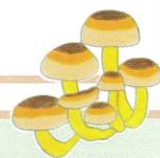
A; 乾燥させたいもの
が一度にたくさん
集中することが多い
ので、乾燥機の使
い方や、回し方に
苦労しています。

Q; 利用者さんが得意な作業は何ですか？

A; グリーンの畑でできた野菜を「切る」、そ
して乾燥させた後に行う「袋詰め」、袋にラ
ベルを貼る「シール貼り」の作業を得意な方が
多く、集中力や丁寧さを発揮しています。ま
た、縫い物やイラスト制作が得意な方もいま
す。みんなで力を合わせて作った商品はショ
ップ「とうり」で販売中です。

Q; 今後の目標を教えてください。

A; 利用者さんが心を込め
て作ったドライ商品やク
ラフト商品を今よりも広
めていき、たくさんのお客
様に手にとっていただきた
いです！！



Q; 利用者さんが楽しそうにしている作業は何ですか？

A; 畑、加工、クラフト等、さまざまな作業があるので、
ベスト3を選びました。

1位/得意先様へドライ商品の納品

2位/畑で収穫

3位/野菜切り

Q; 作業の中で一番楽しいことは？

A; 利用者さんが、作っていた作品が完成して嬉
しそうに見せてくれた時。いろいろな作業で
苦戦しても職員の見本をみて、何度も挑戦し、
できるようになった姿を見られることが嬉し
く、楽しいです。

活動報告【製造販売事業】



一日のスケジュール

9:00 通所
↓
9:30 朝の会
↓
9:45 AM作業スタート
↓
12:00 昼食
↓
12:30 昼休み
↓
13:30 昼の会
↓
13:45 PM作業スタート
↓
15:00 休憩
↓
15:15 掃除
↓
15:30 おやつ
↓
15:45 帰りの会
↓
16:00 帰宅

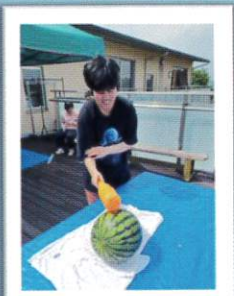
季節ごとのイベントを
楽しんでます♪



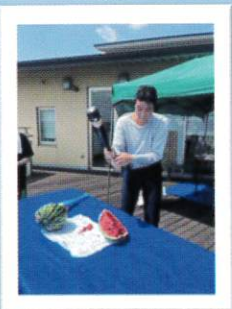
りようしゃ なづ
利用者さんが名付けた
「グリーンコレクション」



がつ にち
3月13日、メイクとネイル
しゃしん と
でおしゃれして写真を撮る
おこな
イベントを行いました。み
うれ
んな嬉しそう♡



がつ にち
8月6日、スイカ割り🍉
バットを持って、いざスイカを割りに！
みんな楽しそう！
割ったあとは、皆で美味しくいただきました



がつ にち
10月28・29日、ハロウィン
パーティ&ゲームイベント
おこな
を行いました。仮装し、ゲ
ームをして楽しく過ごしま
した♪



サービス管理責任者とは、障害福祉サ
ービス事業所で、利用者さんのニーズに合わせ
た個別支援計画を作成し、計画に基づいたサ
ービスが提供されるように管理をおこなう
仕事です。
支援計画を作成するために利用者さんと
一緒に過ごすことは大切なことで、一緒に
作業し、一緒にご飯を食べることで、利用者
さんの様子的変化など担当支援員とも共有
できます。サービス担当者会議に出席し、他
事業所の支援員と利用者さんの情報共有
することも大切な役割です。

また、支援の向上のため支援者への助言や
研修の企画運営も行っています。昨年度から、
外部講師による「自閉症の理解」に関する研修
を行っており、本年度は二年目となりました。
今後は、グリーン開所三十年を過ぎ、高齢期
に差し掛かった利用者さんも増えていく中で、
畑だけではない多様な活動も求められる様にな
っていきます。活動の変革期を迎えるグリーンで
サービス管理責任者はこれまで以上に利用者さ
んも支援員も支えながら、当法人の理念である
「利用者によりよい、ともにいきる」を胸に、グ
リーン全体の支援の向上を目指していきます。

かんりせきにんしゃ
サービス管理責任者(サビ管)とは…
かん いりえひでき
グリーン サビ管 入江英樹



れいわ ねん はる
令和7年の春、
あら
新たに2つのグループホームが
たんじょう
誕生しました！

ソラーナ
3と4



仲間入りしたソラーナ3・ソラーナ4は日中施設グリーンと目と鼻の先に位置しており、利用者さん達は天候のよい日には歩いてグリーン施設まで来られることも。朝の散歩は気持ち良さそうです。

現在8つのグループホームに40名の利用者さんが、職員と一緒に自立した生活を送っています。

暑い日にはかき氷を作ったり、クッキーやケーキを手作りしたり。個々の時間も大切に過ごしています。



お誕生日会♪



くつろぎタイム♪



美味しそう！



かき氷で涼みます



いただきます！料理もします！



週末にお出かけ・お買い物



上手です！



<支援者としてのスタンス>



グリーン・川和ハイツ
管理者 坂井康明

利用者さんと施設は契約で結ばれており、対等な関係であると研修で習います。対等というのはどういうことでしょうか。支援を行う、受ける関係性で言うと、それを保つのはなかなか難しいことですが、実践するのが我々支援者の専門性だと私は考えています。

障害福祉において対等な関係とは、支援を「してあげている」ではなく、「させていたでいる」でもない。困りごとを「一緒に悩み」日々を「一緒に楽しめる」という事が近いのではないのでしょうか。利用者さんと支援者でお互いに影響し、未来を考えられる現場になったらと思います。理想に近づけるよう職員一同知恵を出し合い、支援をしていきます。今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

ようこそ グリーンへ！

4月から新しい仲間が増えました



いしかわ りょう
石川 諒さん

グリーンの生活にもすぐに慣れ、皆さんの名前もあっという間に覚え、いつも名前を呼びながら話しかけ、明るい雰囲気にしてくれる存在です。

畑作業では何でも任せられるオールラウンダー！難しい小さい種の種まきも器用にこなされます。特に堆肥を入れたり運んだりする作業が好きな様子です。大のワンちゃん好きで、特にゴールデン・レトリバーが大好きという一面も。



たかいわ けい
高岩 慶さん

毎日、何事も一生懸命に取り組んでいらっやいます。畑では、草取りや、玉ねぎ・にんにく等の収穫「抜く」作業が大の得意！一方、田んぼでは、とても初めてとは思えない程リズムよく田植えされ注目を集めていました。

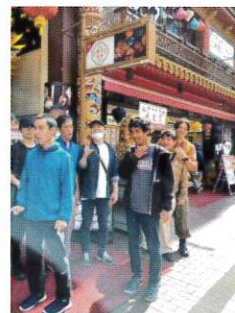
思いやりがあり優しく、昼食後のデザート配っている方が終わるまで召し上がるのを待っていてくださいます。



ぎょうじほうこく 行事報告

R6
がつ
9月～
がつ
11月

ほうじんりょこう
法人旅行



1泊旅行/鎌倉方面

ひがえ りょこう よこはまちゅうかがいほうめん
日帰り旅行/横浜中華街方面

今年の旅行は9月から11月にかけて、少人数に分けて楽しみました。1泊旅行では電車に乗り鎌倉へ。海が近いゲストハウスを貸し切りしました。少人数の班ならではの旅行で、たくさんの笑顔が見られました。

R6
がつ
11月

しゅうかくさい
収穫祭

晴天のもと、「グリーン収穫祭」を
畑で開催しました!

野菜の収穫体験や焼き芋の販売に加え、地域のお店による出店もあり、会場は終日大盛況。すぐそばの柿畑ではアート展も開催しました。地域の皆さまにたくさんご来場いただき、笑顔あふれる楽しい一日となりました。次回は2025年10月25日に開催予定です。





パスタやフルーツをはじめとする
ドライ商品の人気は年々広が
っています。リピーターも多く、
最近では災害時の非常食
としても利用されてきています。



マルシェ(販売会)に 参加しています

年々増えているグリーンのマルシェへの参加。
令和6年度は40回ほどのマルシェに参加させて
いただきました。グリーンの商品や活動を
周知する貴重な機会にもなっています。
マルシェでは毎回、利用者さんが大活躍！

荷物の搬入や接客、商品やお釣りの受
け渡し、試食、資料配布など多岐に渡りま
す。利用者さんの声かけで余分に購入して
くださるお客様や、利用者さんとの再会
目的で再訪されるお客様も！



雑貨では刺し子、手ぬぐい、ポチ袋などが
人気です。

製作者である利用者さんの目の前で商品
が売れた時は、ご本人も職員も喜びはひ
としおです。



旬の取れたて野菜も人気で
す。秋には「柿」も販売。す
ぐに完売し残念がられたこと
も多かったです。わたげで
栽培した「イタリアンパセリ」
も即完売の人気ぶり！



飯村 貴史
(グリーン)

- 1 焼肉
- 2 山登り (低山)
- 3 介護福祉士の資格
- 4 牛



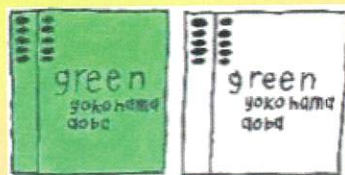
栗山 光春
(グリーン)

- 1 さばの押し寿司
- 2 スタバで読書
(1回しかやったことない)
- 3 持続力
- 4 たぬき

しんじんしょくいん
新人職員に
聞いてみました!

Question

- 1 好きな食べもの
- 2 趣味
- 3 いま一番欲しいもの
- 4 自分を動物に例えると



伊藤 悠河
(グリーン)

- 1 鶏肉・プリン
- 2 筋トレ・ゲーム
- 3 コードレス掃除機
- 4 犬



石川 夏鶴
(グリーン)

- 1 サーティーワンのアイス
- 2 ジグソーパズル
- 3 犬の気持ちがわかる能力
- 4 レッサーパンダ

後援会からのお知らせ

奥山誠さんに今年度より後援会会長に就任していただきました。

グリーンの小麦に「あおば小麦」という名前をつけてくれた奥山さん。「横浜あおば小麦プロジェクト」は、地産地消を広げる素敵な取り組みへと成長しています。グリーンのことをいつも気にかけ、地域とのつながりを大切にしてくれる奥山さんに、今後も応援団長としてグリーンの歩みを支えていただけることを、心より嬉しく思います。

後援会長(新任)

おくやま まこと

奥山 誠



日頃より、グリーン後援会の活動にあたたかなご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

後援会では、利用者の皆さまが安心して穏やかな日々を過ごせるよう、日々取り組んでおります。

このたびの「グリーン通信 第26号」を通じて、グリーンの活動の様子を広く皆さまにお届けし、支援の輪がさらに広がることを願っています。

いただいた支援金により今年度は、施設内の古くなった間仕切りカーテンを新しく交換することができました。災害時の備えとして、防災備品の整備は継続中です。

こうした取り組みも、皆さまからのあたたかいご支援があってこそ、実現できたものです。

本当にありがとうございます。



毎年、後援会からの寄附でいろいろな物品を購入させていただいています！



畑で大活躍
自走式草刈機
(R3 年度購入)



投光器、ランタン、
薪ストーブ防災セット
(R2年度購入)

夏の畑の救世主
ミストファン 2 台
(R5 年度購入)



暑い夏がくるとあの日がよみがえる



理事長 中西晴之

2016年7月26日。この日を僕は忘れることができない。僕は知的障がい児者に育てられ、慰められ、勇気をもって40年余福祉の世界で生きてきた。

そんな僕は、19人を殺害した津久井やまゆり園事件の犯人がなぜ蛮行に及んだのか理解ができない。理解できるのは福祉の仕事が形骸化して、いわば魂を失い、ふらふらしている様だ。社会の多くの人達にとって、障がい児者は遠い存在で、自分とは全く関係ない。それを支援者は放置していないか。

実は、20年ほど前、僕は交通事故で障がい者となった。事故当初、手指を失ったことが受容できなかった。振り返って、障がい受容できていない利用者の親を責めていた若き日の自分を恥じた。

僕はいつのまにか歳を重ね名前を思い出せないなど老いを感じる歳となった。誰もがたどる人生の終焉に向かっての歩みが始まっている。犯人は自分が老いた時、誰かに車椅子を押ししてもらい、食事介助をしてもらい、人に支えられ人生を閉じることを想像しなかったのか？犯人は、「障がい者は不幸を作ることしかできない」と断じた。僕が驚いたのは、その考えに共鳴する人々があまりにも多いことだ。

僕は辛い時、落ち込んだ時、声をかけると満面の笑みで返してくれる重い障がいのある「ゆうや」に何度も救われて来た。

「弱い」を持つ彼らが壁にぶつかり、発信して駅の階段をエスカレーターへと変え、バスを誰もが乗れるようにした。彼らは、社会の未成熟な部分をいち早く察知するセンサーを持っている。センサーは支援者との協働の中で社会を変えてきた。老いる僕もまもなくセンサーを持つ仲間になる。福祉は「支え、支えられる」循環を繰り返す。

最近そんな確証を老いた僕は強く持ち、支援者の奮起を期待している。

グリーンには活動の基底にこの魂、思いを堅持し、街の人達と協働した実践を貫いてもらいたいと願っている。

※R7 10/16 (木) 20時～ Eテレ「toi-toi」にて「精神障害者はこわいのか」
青葉メゾンの建設反対運動を経験した元施設長として出演します。

施設長 開地久美子

「アンネの日記」は、ナチスの迫害から逃れるために隠れ家で過ごした13歳のユダヤ系ドイツ人少女、アンネ・フランクが残した日記を、生還した父が出版したものです。小学生でこの本を読んだ時、同世代の女の子がこんなにも過酷で短く人生を終えなければならなかった史実に大きな衝撃を受けたことを今でも覚えています。

それから数十年がたち、フランク一家の隠れ家に食料を運んだ支援者、ミープ・ヒースの事を知りました。後に「私は決して特別な人間ではない」と、命がけで行った支援にこう答えたそうです。当時は見て見ぬふりすることも支援、ユダヤ人への支援だとわかっていながら食料を売る支援、食料を調達して運ぶ支援。様々な支援の中でミープさんの「平凡な事務員や主婦や若者でも、自分なりの方法で、暗闇に小さな明かりを灯すことができる」という言葉に支援者としても心を動かされます。

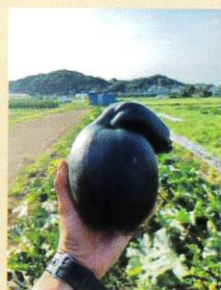
戦時下もそして現在も、誰であっても誰かの支援はできるし、誰であっても支援を受けてよいのだと感じます。

今年は原爆投下、終戦から80年です。

相も変わらず世界のどこかで戦争は続いていて、大切な家族が犠牲になっています。

「〇〇ファースト」の危うさに心がザワザワしてしまいます。

Instagram



日々の出来事や
マルシェ情報、
イベント情報なども
インスタで発信中

Follow Me!!

発行元 社会福祉法人グリーン 後援会

〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町335-1

電話番号 045-961-0305



第26号 令和7年9月発行

